

教科	音楽	学年	第3学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
オリエンテーション(実態把握)	1	今年度の音楽の目標や流れを理解し、提示された設問に対して、言語や音楽表現を用いて表現しよう。			○提示された課題に対して主体的に取り組もうとしている。
歌唱「花」	3	曲の持つ特徴(16分音符・休符、歌詞と旋律や強弱との関連性)を生かして、表現しよう。	○歌詞の内容や曲想を生かし、基礎的な表現の技能を身に付け、16分音符・休符等の表現ができています。	○テクスチャ、言葉の区切り、休符の役割、形式を知覚し、そえらが生み出す雰囲気や情景を意識して音楽表現をしようとしている。	○作者の伝えようとしている音楽や歌詞の意味を捉えて、人に聞かせる意識をもって歌唱表現をしようとしている。
鑑賞「歌舞伎 勸進帳」	2	総合芸術である歌舞伎の音楽的特徴や演技の特徴など、様々な要素を知り、演目を鑑賞しよう。	○歌舞伎の舞台の特徴、使われる楽器の種類、演技者の特徴などを理解し、既習事項と関連させて鑑賞ができています。	○長唄の旋律やリズムの特徴を感じ、三味線との関わり合いを知覚し、音楽の特徴を言葉で表現ができています。	○日本の総合芸術の中でも代表的な歌舞伎に興味を持ち、能で学習したことを生かし、鑑賞しようとしている。
鑑賞「文楽」	1	文楽の音楽的特徴や演技の特徴を知り、文楽が生まれた時代背景と重ねながら鑑賞しよう。	○文楽に用いられる楽器の種類や謡を、既習事項や歌舞伎と結び付け理解し、時代背景を捉えて鑑賞ができています。	○謡のリズムや楽器の音色の特徴を知覚し、自分なりに解釈して言葉で表現ができています。	○文楽に使われる楽器や音楽的特徴に興味を持ち、鑑賞しようとしている。
アルトリコーダー	5	アルトリコーダーで表現するために必要な技能を身に付け、音楽の持つ雰囲気を生かして演奏しよう。	○曲想を生かし、基礎的な表現の技能を身に付け、お互いのパートを意識した合奏表現等ができています。	○音色、リズム、旋律に適した表現(タンギング)を知覚し、声部のもつ役割を意識して音楽表現を工夫している。	○曲想を感じ取り、意欲的に音楽表現ができています。
合唱コンクール課題曲	3	合唱の基本的技能を身に付け、自分たちの音楽を作るための基本的な知識を身に付けよう。	○旋律感や音程感、リズムの関連などを表現する基礎的な歌唱技能を身に付け、聞く人を意識した表現ができています。	○強弱変化、テクスチャの理解、歌詞の内容と曲の展開を知覚し、曲の持つ思いや情景、雰囲気を感知取り、自分なりに工夫をして音楽表現をしようとしている。	○各パートの役割を理解し、それに必要な技能や知識を得ようとしながら、合唱表現に取り組んでいる。
合唱コンクール自由曲	2	合唱の基本的技能を身に付け、自分たちで工夫して音楽を作るための基本的な知識を身に付けよう。	○旋律感や音程感、リズムの関連などを表現する基礎的な歌唱技能を身に付け、音楽的構造を意識した表現ができています。	○強弱変化、テクスチャの理解、歌詞の内容と曲の展開や形式を知覚し、曲の持つ思いや情景、雰囲気を感知取り、自分なりに工夫をして音楽表現をしようとしている。	○各パートの役割を理解し、それに必要な技能や知識を得ようとしながら、合唱表現に取り組んでいる。
合唱まとめ(リハーサル・合唱コンクールを含む)	3	学習したことや自分たちの考えを合唱に生かして、クラスで協力して合唱表現をしよう。	○旋律感や音程感、各声部の役割、言葉とリズムの関連などの基礎的な表現の技能を身に付け、パートの役割を生かした一体感のある歌唱表現ができています。	○前単元の知識や技能を生かし、自ら考え、それを具現化するために、創造的に音楽表現をしようとしている。	○音楽的表現、曲の理解、パートの役割を感じて、意欲的に合唱表現に取り組んでいる。
鑑賞「オペラ アイダ」「ミュージカル」	3	西洋の舞台芸術(総合芸術)の特徴を理解し、日本の舞台芸術と比較しながら鑑賞しよう。	○オペラやミュージカルの題材やストーリーを理解し、それに伴った歌唱表現の特徴を理解し、音楽的特徴を捉えて鑑賞ができています。	○視覚・聴覚から感受した音楽的特徴を言語化し、批評しながら鑑賞ができています。	○西洋の舞台表現への関心・興味を持ち、音楽的な特徴を感じ取り、学習した知識を意識し、鑑賞しようとしている。
打楽器アンサンブル	4	アンサンブルを通して、他者と協力して合奏に必要な技能を習得しよう。	○打楽器の基礎的な表現技能を身に付け、強弱やリズムを生かしたアンサンブル表現ができています。	○音色の組み合わせ、音量バランス、リズムから生み出される特徴を捉え、各声部の持つ役割を意識して、アンサンブルとして音楽表現を工夫している。	○曲想やリズムの特徴を感じ取り、グループで協力して、意欲的に音楽表現ができています。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立松江第六中学校

創作(打楽器アンサンブルのリズム)	1	リズムの抑揚を生かした旋律を作ろう。	○音素材の特徴や音の重なり、反復や変化などの、課題に沿った音やリズムの選択方法を理解している。	○創作表現に関わる知識を生かし、創作表現を工夫して作成ができる。	○創作表現に関わる知識を生かし、意欲的に創作に取り組むことができている。
コンピューターと音楽(創作)	1	音楽ソフト(アプリ)を用いて、リズムを作成しよう。	○音楽を制作するソフト(アプリ)の使い方や、それらを用いたリズム作成の仕方を理解している。	○課題に沿ったリズム考え、ソフトを用いて創作表現ができる。音色や楽器の工夫ができる。	○創作表現にかかわる知識を生かし、意欲的に創作に取り組むことができている。
卒業式の歌	5	自分たちの思いを歌にのせて表現しよう。	○表現しようとしている音楽に対して、それを具現化する技能を身に付け、聞く人を意識した表現ができている。	○強弱、テクスチャ、言葉の区切り、休符の役割、形式を知覚し知識や技術を生かして音楽表現をしようとしている。	○音楽的表現、曲の理解、パートの役割を感じて、意欲的に合唱表現に取り組んでいる。